



学校だより

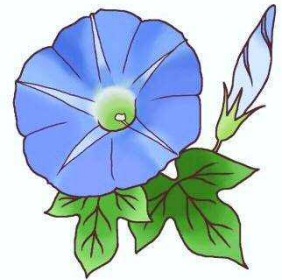
7月23日号



平成27年7月23日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

夏休みには・・・

校長 井出 了一



明日から、子どもたちが楽しみに待っていた夏休みが始まります。一年で一番長いお休み、家族で田舎や海、山、キャンプなどに出かけたり、花火をしたり、大いに楽しんで絆を深めましょう。

せっかく自由な時間が沢山あるので、厚い本を読んだり植物の観察をしたり、長い休みにしかできない課題にもぜひチャレンジしてみてください。また家族の一員として、食器の片付けやお風呂洗い、水やりをするなど、自分のためだけでなく、みんなのために活動するのもいいでしょう。夏休み中、交通事故や水の事故などに遭わないよう、健康・安全に気を付けて、楽しい休みを過ごしてください。そして、始業式には一回り大きくたくましくなって、全員が元気に登校するのを楽しみにしています。

保護者・地域の皆様方、1学期の間、温かい御支援御協力をいただきましてありがとうございました。2学期も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、7月7日は七夕でしたが、残念ながら織姫・彦星は見えませんでした。太陽を基準とした新暦では梅雨の真っただ中、なかなか星空は見えません。しかし東洋で用いられた旧暦の7月7日（今年は8月20日）頃になると、梅雨も明けて天候も安定します。この旧暦7月7日を数年前から「伝統的七夕」として、灯りを消して星空を見上げるキャンペーンを行っています。ちょうど夏休みの時期です。旧暦は月を基準とした暦ですから、日にちと月の形がほぼ一致します。7日といえば月齢=約7（新月から7日目）上弦の月です。夜も更ける頃には月も沈み、真っ暗な夜空に天の川がかけられます。このころ天の川を中心に近い部分が南中し、これを挟んで「織姫」（こと座のベガ）と「彦星」（わし座のアルタイル）、二人の間に首を伸ばした形の白鳥座が天の川の中を飛び、おしりに輝くデネブと合わせて、3つの1等星が輝きます。（これが「夏の大三角」です）

やはり、七夕の物語は昔ながらの旧暦が似合います。ちなみにこの直前、8月13日を極大日として「ペルセウス座流星群」が見られます。3大流星群の1つで、前後の数日間、空の暗い所では、1時間に数十個の流れ星が期待できます。

夏休み、山や海に出かけたら、ぜひお子さんと一緒に、七夕の伝説を語りながら、美しい星空を見上げてみてはいかがでしょうか。きっと願いが叶うことでしょう。

